

# 関係者評価の結果について

令和5年4月作成  
学校法人北邦学園  
菊水いちい認定こども園

## 1 本園の教育目標

教育目標
◎ 思いやりのある子 ◎ 考え工夫する子 ◎ 明るくたくましい子

『評価』の区分
A：成果を上げている。
B：ある程度成果を上げている。
C：もう少し努力が必要である。
D：改善が必要である。

## 2 令和4年度に重点的に取り組む目標・計画

取り組む目標、計画
① 「いちいの保育」について理解を深める ② 預かり保育と2号児保育時間の充実とメリハリ ③ 玩具や絵本について学びを深める ④ 新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、充実した園生活を送れるよう活動や環境を工夫する

### 3 評価項目の達成及び取組み状況

A:成果を上げている B:ある程度成果を上げている C:もう少し努力が必要である D:改善が必要である

評価項目	取組み状況	関係者評価	
		評価	意見等 ○良い △意見 ●課題 ☆要望
「教育保育の計画性」について 自己評価：B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育保育課程・指導計画の改訂に伴い、各学年が子どもの育ちや保育教諭の援助、環境構成等を丁寧に見直したのは、自身の保育の確かめになり、また、良い学びになったと考える。</li> <li>・コロナ対策を講じながらの保育も3年目を迎え、過去の対策や経験を生かしながら日々の保育や行事の運営ができたと思う。コロナを機に見直した環境構成等の中には、収束後も継続するのが望ましいと考えられるものがあるため、効果的な手段としてまとめ、引き継いでいこうと考えている。</li> <li>・子どもの遊びを盛り上げようと、手作りの玩具を用意するなど、環境を整えたことは評価できる。一方、遊びを限定、あるいは遊び方を指定してしまうことがあり、子どものアイディアで遊びを工夫し発展させていけるよう意識することを改めて共通理解する。</li> <li>・保育の振り返り（評価/反省）は「ねらい」に対して行い、以降の保育に生かしていくものだが、“感想”にとどまっていることが多い。評価・反省を生かし、より良い保育を展開するためにも、振り返り方を改めて確認する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園当初からコロナで登園もできませんでしたが、リモートでの活動などをして頂き、先生方みなさまに感謝の気持ちでいっぱいでした。（エビカニクスを楽しそうに踊っていました!） 今後も学年を問わず先生方と園児が関わって欲しいと思います。</li> <li>・園にある手作り玩具などを真似して家でも廃材でいろいろな作品を作ることが増え、影響力がすごいなと思いました。廃材、落ちているどんぐりなどいろんな物が遊びに変わるのはいちいの保育のおかげで身に付いたと思います。</li> <li>・忙しい中、手作りの玩具を用意して、子どもたちを楽しませようとしてくださっていることも、とてもありがたいです。</li> <li>・（評価反省について）保育に限らず、どんな仕事においても通ずるものがあると思いました。</li> <li>・細かい計画案や日々の反省等、子どもたちをしっかりと見てくれていることが伝わります。コロナ禍でも、その時にやれる最大限のこと（行事など）をしていただき、感謝しています。</li> <li>・指導計画を立てる際、振り返りを行う際には「何のために」というねらいにそっているかどうかは何よりも大切です。</li> <li>・大事なことを園全体でおさえながら振り返り方を確認しているところが素晴らしいと思います。</li> </ul>

<p>「教育保育の在り方、幼児の対応」 について 自己評価：C</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>園舎内外の清掃や整理整頓、特に保育室は課題が多い。毎日の清掃や学期末ごとの大掃除等は行っているものの、雑然とした環境になってしまっている。子どもたちが日々生活をする場であり、毎日目にする光景であることを意識し、環境を整えることの大切さを改めて考えていく。</li> <li>子どもの人権について考える機会を多く設けた。人権擁護のためのチェックリストを用いて自身の言動を確認したり、保育教諭同士で互いの言動に注意し、必要に応じて指導をしたり、気付きを共有したりしてきたが、こうした取り組みが大事であると改めて感じた。</li> <li>子どもの遊び（経験）は全て学びであることの意識が低いと感じる。保育教諭の意識が低いことで、経験の積み重ねが十分ではないと感じる場面（並んで歩く、順に行動するなど）があり、子どもたちが日々の生活の中の、どのような場面で、どのようなことを学んでいるのか考えながら関わることの重要性を改めて共有理解していく。</li> </ul>	<p>A/B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学に行った際に清掃をしている子をよく見負けました。自分で汚した所は掃除する、汚れているなどと思ったら自分で汚した訳じゃなくても掃除をするということが、先生からの教会で学んでいたのではないかと思います。</li> <li>我が子の話になりますが、自由過ぎて集団行動なんてできないのでは？と不安でしたが、園に入ってから見違えるほど成長できたと思っています。そういったところ（並んで歩くなど）もきちんと教えてもらい感謝です。</li> <li>園舎の清掃については特に気になったことはなかったです。ただ、最低限、危ないものは出しっぱなしにしないことや、災害（地震）に備えて頭に落ちたら危ないものは棚に置かないなどの配慮があるとありがたいです。（もちろん、やってくれているとは思いますが）</li> <li>言動に関しては、先生のみならず、親も気をつけなければならぬ課題だと思います。間違えた言動をしてしまった時に先生同士で注意し合える環境は素晴らしいと思いました。</li> <li>経験の積み重ねは、時に先生方にとって忍耐を要するものではないかと思ったりもしますが、遊びを通していろいろ学べるのは最高ですね！今後の子どもたちの姿に期待したいと思います。（今でも須賀らしいですが）</li> <li>園舎、保育室など、きれいにされているなど感じていました。絵本コーナーもいつもきれいで、子どもたちへどのような声掛けをしているのか気になります。</li> <li>どんな経験を積み重ねるのが良いのか、保育する側の意図的な取り組みが期待されます。</li> <li>経験の積み重ねを十分に行っていきたいという思いは小学校も同様です。こうした話を教諭同士でできる機会があると良いと思いました。</li> </ul>
<p>「保育者としての資質と能力」 について 自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもへ愛情をもち、心を込めて保育をしてきたことは評価できる。また、そうした思いが保護者の方々にも伝わり、「安心できる」などのお声をいただけたのは誇りに感じる。</li> <li>行事の運営に際し、担当者はもちろん、その他の保育教諭がどんどん協力しながら準備を進められたのは良かった。また、日々の保育でもこうした支え合う姿が多く見られ、一つのチームとしての自覚が各々にあることを感じた。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちひとり一人と向き合って接してくれていると思います。</li> <li>1人の子だけに視線を向けるのではなく、いつも遠くの子にも目を向けていてすごいなと思いました。</li> <li>どの先生も、いつも笑顔で対応して下さり、園での様子も教えていただけるので、私自身も安心しています。</li> <li>先生方一人ひとりの努力、園全体の雰囲気作り、全て良かったです。</li> <li>お互いに支え合うチームができてきた様子が感じられます。</li> </ul>

<p>「保護者への対応」について</p> <p>自己評価：A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の気持ちに寄り添いながら信頼関係を築いていく努力はしたと考えている。要望に応えられない場合にも、園の考えを丁寧に伝え、理解してもらえ努力はしてきた。今後も、保護者の方々一人ひとりの気持ちを大切にしながら、園と共に同じ方向に向かって歩んでもらえるよう、日々のコミュニケーションを大切にする。</li> <li>昨年同様、保育のプロとして専門的な視点から捉えた子どもの姿を保護者に伝える、という点に課題がある。子どもの姿に見られる課題は、成長に伴ってのものであり、その成長を見極めたうえで課題を明らかにするのが望ましいと考えているが、成長を認め合い、喜びを共有するよりも、課題を共有することが先になっていることがある。改めて、成長に伴う課題、そして、課題は悪いことではないことを念頭に子どもの姿を捉えることを共通理解する。</li> <li>「子どもの姿」をコドモンで配信するのは、HPに掲載するよりも見やすかったと考える。しかし、掲載する写真が似たり寄ったりで、子どもの成長や興味、関心がわかるような視点で必ずしも撮られていなかったことが反省点である。</li> <li>「担任以外の保育教諭でも子どもの様子を話してくれる」「お迎えに行った時に子どもが楽しそうで安心する」「仕事に行く後ろめたさがなくなった」などと言っていたのは大変嬉しく、日頃の関わりに安心して頂いているのは評価点だと考える。今後も全職員で全園児と向き合っていこうと思う。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの先生が子どもはもちろん、保護者の顔も覚えていてくれて、話しやすく嬉しかったです。</li> <li>担任の先生から、今日こんな事がありましたとマイナスなお話を聞くこともありましたが、フォローもしっかりしてくれているし、そういうところをしっかり見て伝えてくれていることに感謝です。</li> <li>HPだとなかなか見る機会がなかったりしますが、コドモンで普段の様子を配信してくれると、すぐ確認できるので、嬉しかったです。</li> <li>日々の様子を伝えていただけるだけでありがたく思っていますが、子どもの課題には成長が伴うことを伝えられれば、マイナスに捉えられがちな課題をポジティブに捉えることができ、子育てに悩んでいるお父様やお母様の悩み軽減につながり、より良い信頼関係を築くことができるのではないかと感じました。</li> <li>いつも丁寧に関わって頂き、様子を伝えて頂けて安心していきます。乳児部から幼児部へ行った際も同じような関わりをしてもらえると嬉しいです。</li> <li>伝えたいこと、伝えるべきことは受け手の状態も考えながら行うことで、区別しながらタイミングを見計らって行っていることと思いました。</li> <li>全職員が全園児と向き合おうとしている姿勢を高く評価します。</li> </ul>
<p>「地域の自然や社会との関わり」について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事ごとに隣の会社に駐車場をお借りしている。日頃から感謝し、会った時には挨拶をしたり、言葉を交わすことでしなやかな関係を築けていると考える。</li> <li>コロナ対策が徐々に緩和され、小学校との交流も再開できた。授業参観も可能となり、今後はコロナ以前のような関わりを取り戻していきたい。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣会社の駐車場をお借りするなど普段から先生方の配慮があるからこそだと思っています。</li> <li>小学生の子どもが、園長先生や園の子どもたちが小学校に来たことを喜んでいました。“次は妹が来る番だ”と楽しみにしていたので、今年度もぜひ交流できたら良いなと思っています。コロナでできなかったいろいろな行事が今年度からは復活できると嬉しいです。</li> <li>小学校と園の交流が再開し、できないことがなくなりつつあります。コロナ以前に行ってきたことをどんどん復活させていきたいと思います。</li> </ul>

<p>「研修と研究」について</p> <p>自己評価：B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園内の研修（新人研修、指導者研修、実践交流会、絵本研修など）が充実し、志しを同じくする姉妹園の仲間と共に学ぶ機会があるのはとても良いと考える。</li> <li>・今年度の園内研究では、実践後の評価/反省（まとめ）を何度もやり直し、“振り返りの視点”の重要性を学んだ。視点がずれると評価や反省の内容が大きく変わる経験を今後の振り返りに生かしていく。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修制度がしっかりしているのが須賀らしいです。その研修をいちいの先生方はしっかり実践できていると思います。</li> <li>・色々な研修があるんだなと思いました。そこで色々な気づきだったり、自分自身の向上につながると思うので、良い機会だと思います。</li> <li>・時間のない中、研修を行い、学びを深める機会を作っていることが素晴らしいと思います。</li> <li>・振り返りの視点を明確にしているところは、大事にしているところが素晴らしいです。</li> <li>・評価の観点や評価基準を共有しておく、なお効果が上がると感じました。</li> </ul>
----------------------------------	--	----------	--

#### 4 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>自 己 評 価</p>	<p>関係者評価</p>	
	<p>評価</p>	<p>意見等</p>
<p>◎「いちいの保育」について理解を深める 自己評価：B</p> <p>*教育保育・指導計画の改訂を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年が期ごとにじっくりと時間をかけて現行のものを見直し、変更あるいは訂正作業を進める中で、子どもの育ちや保育教諭の援助、環境構成等についての学びを深められたのは良かった。</li> </ul> <p>*建学の精神のもとに行っている「いちいの保育」について、大切にしているもの（心がけや意識など）やねらいを共通理解する。（手段のみの継承にならないよう確かめ合う）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境構成や援助の意図について、毎日の打ち合わせの際に確認する機会を多く設けた。保育のねらいに対する手段は幾通りもあり、保育教諭の個性やアイデアでどんどん魅力ある活動にしていけることは共有できたと思うが、次年度以降もねらいや意図を丁寧に確認しながら保育の立案を行っていく。</li> <li>・子どもの育ちを認め大切にする、そして課題に向き合うことを改めて確認（指導）したが、次年度も引き続き「子どもの姿を肯定的に捉えること」「子どもの課題は成長に伴うものであること」を常に念頭において子どもと向き合えるようにする。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本に立ち返り、改めて園内での課題の共有と共通理解を図り、比億に向き合おうとしている姿勢を高く評価します。</li> </ul>

<p>◎預かり保育と2号児保育時間の充実とメリハリ 自己評価：B</p> <p>*園全体の日課票を見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日決まった時間に点呼をし、時間的な区切りを意識した。子どもなりに時間を意識したり、生活に見通しをもったりする姿が見られたので、効果的だったと考える。</li> </ul> <p>*園で過ごす時間が長いからこそそのメリハリを大切にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり/2号児保育時間は、異年齢での関わりを中心に教育時間との差別化を図っているが、楽しく盛り上がる活動が多く、家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごす時間が少ない。また、週末（金、土）の午後は疲労も溜まってくるので、特に活動内容を考慮しなければならぬと考える。</li> <li>・長期休み期間の活動について、通常の教育保育日と大きな違いがないのだが、一日の保育時間が長いことやその期間が長いことなどを生かした活動内容を工夫していく事が今後の課題と考える。</li> </ul> <p>*子どもなりに生活に見通しをもち、主体的に行動できる環境構成や援助の在り方について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点呼の時間や教育時間からの移動（移行）時の流れ（身支度や荷物の準備等）が定まり、子どもが「何をどうすれば良いのか」を考えながら行動するようになった。特に預かり/2号児保育が始まる時刻を定めたことが、子どもの気持ちや活動（行動）の良い区切りになったと考える。</li> </ul>	<p>A/B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休みに9時から利用することが多かったのですが、朝の預かりの勢いに馴染めず…などところがありました。 （9時のくり組から移動など、どうしたら良いのかわからず）</li> <li>・全員を見ることは難しいので、仕方ないのですが、迎えに行った時に1人でポツンとしている姿もあり、ぶどう組に慣れていない子には積極的に向き合って欲しいです。</li> <li>・絵本の時間にいつもお迎えが来る！という認識があったようで（今は違ったらすみません）、時計の読めない子でもそういうところで時間を把握できるのも良いと思います。</li> <li>・長期休み限定のもちつきなども魅力です！</li> <li>・資料を見させていただき、毎日色々なことを考えてくださっているんだなど、ありがたい気持ちでいっぱいです。</li> <li>・園長が話していた通り、確かに2号児は時間的な区切りが薄いなど、言われて初めて気が付きました。そのことに気付いて時間的な区切りを意識して下さったことに感謝しています。朝も決まった時間に出発するなど、家庭でも気を付けていきたいと思っています。</li> <li>・長期休みに入ると“1号認定の子たちはお休みなのに、なぜ自分では行かなければならないんだ！小学生もお休みなのに”という思いを少なからず、我が子も持っていると思います。その気持ちもわかるので、親としても少し申し訳なさがあったりします。（時に夏休み）なので、明日につながる活動があれば、ぶどう組でしか味わえない特別感と、明日もこの続きをやるんだ！というわくわく感をもて、とても良いと思いました。（秘密基地とか大好きです！） でも、行ってしまえば楽しんでいる我が子ですので、日々関わってくださっている先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。</li> <li>・預かり保育、2号園児保育に課題ももち、良い方へ変えようとする姿がとても良いと思います。“これで良い”ではなく、更に良くしていこうとする取り組みが素晴らしいです。</li> <li>・とても難しいことに思えることにも、様々な工夫をこらし、メリハリを実現されていることが素晴らしいと感じました。</li> </ul>
--	------------	--

<p>◎玩具や絵本について学びを深める 自己評価：C</p> <p>*学園の玩具選定基準をもとに選んでいるが、そのねらいや意図を共通理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ちに応じた、あるいは育ちを引き出すような玩具の選定の選定を心がけてきたが、玩具についての学びはまだまだ積み上げが必要だと思う。</li> </ul> <p>*玩具を通した子どもの育ちについて学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの育ち(学年)に応じた、「触れる」「試す」「考える」などのことを楽しめるよう玩具の選定をしてきた。改めて子どもの心身の発達についての学びを深めることが不可欠であると感じた。</li> </ul> <p>*学園の図書委員会を生かし、絵本について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年度から「絵本×保育 実践者育成研修」と名称、取り組み方を変更し、研修を実施した。各園から代表者が参加し、継続的に研修を重ねることで学びを深めると共に、研修をまとめた動画を作成し、他の保育教諭とも学びを共有できたは大変良かったと思うが、研修が終了するたびに代表者による学びの共有の場を設けると更に良かったと考える。</li> </ul> <p>◎新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも、充実した園生活を送れるよう活動内容や環境構成を工夫する。 自己評価：A</p> <p>*感染状況を把握し、過去の対策を参考にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがい、手指消毒、換気、消毒等を基本対策とし、保育を立案した。学年ごとに集まる集会などは密集や密接を避けられるよう環境を工夫したが、それ以外の場面では乳幼児期ならではの他者との関わり、触れ合いを楽しむ姿を大切にするなど、メリハリのある対策ができたと考えている。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玩具は飽きてしまう事が多いかと思いますが、見学に行った時など、楽しそうに遊んでいる姿が見られました。指先を使ったりするものなどが良いなと思いました。</li> <li>・玩具がそこまで奥深いものという認識がなかったです。園でどのような玩具を使っているか知らないなので、知る機会があってもおもしろいかなと思いました。</li> <li>・毎月の絵本の取り組みにつながっていると思います。親としてとてもありがたいので続けて欲しいです。</li> <li>・自分からは読まない絵本も担任の先生が読んでくれたりすると、興味がわいてくると思います！</li> <li>・0, 1, 2, 歳児の育児支援、とても良いと思うので、今後も続けて欲しいです。</li> <li>・園では大切な教材です。小学校と違って簡単そうに見える教材ほど、研修が必要になるのだと改めて考えさせられました。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の消毒等、最善の感染対策をしていることが伝わってきました。</li> </ul>
--	----------	--

## 5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法	関係者評価	
		評価	意見等
預かり・2号児保育の 保育の工夫 (日々の保育/長期休み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育時間との差別化を図る。</li> <li>・園バスを利用した園外保育を実施する。</li> <li>・子どものアイデアを生かし、工夫したり発展させながら継続的に取り組む活動を取り入れる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナも落ち着いてきたので、ぜひ園外保育など楽しいことをたくさん経験させて欲しいです。</li> <li>・園バスを利用した園外保育、とても喜ぶと思います。</li> <li>・課題に対する具体的な取り組みがとても明確で素晴らしいと感じます。</li> </ul>
環境（ゾーン）の 見直しと工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各ゾーンでの子どもの遊びを把握する。</li> <li>・遊びへの意欲を引き出せるような環境が整っているか確認する。 (季節や子どもの興味、関心が反映されているか等)</li> <li>・子どもが遊びを工夫したり発展させたりすることができる準備(教材/教具)がされているか確認する。</li> <li>・子どもがじっくりと遊びこめる環境を整える。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優位室、園庭のやぐら、ホッピーハウスなど、楽しめる場所があると思います。ホッピーハウスに新しいものがあったり、模様替えしてであると自分(親)も遊びたくなりました。</li> <li>・子どもたちが楽しく遊べるよう色々と考えて下さり、ありがとうございます。今後さらに楽しい場所となるよう期待しています！</li> <li>・課題に対する具体的な取り組みがとても明確で素晴らしいと感じます。</li> </ul>
玩具の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の玩具について、意図を確かめると共に子どもの成長を促す玩具について考える。</li> <li>・専門書等を参考に、手作りの玩具を増やす。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな知育玩具があるので、子どもたちの成長につながる物があると嬉しいです。</li> <li>・課題に対する具体的な取り組みがとても明確で素晴らしいと感じます。</li> </ul>

2  
以上